



通信

HP 学校だより
R6.2.21
NO.40
文責 伊藤美佳



6年生との会食で

アフターコロナとなった今年度は、卒業間近の6年生が計画をし、「校長先生との思い出をつくろう」と命名してくれた会食会を行っています。2月8日（木）からスタートし、毎回6人とお話ししながら校長室で楽しく給食を食べています。

さて、どんなお話をしようかなと考えながら食べていると、無言の時間ができてしまいます。そこですかさず子どもたちが話題を考えます。「上手に話をつなげたな」とか、「話に参加できたな」とか、子どもたちの様子を見ながらの会話はとても楽しいです。話題が途切れたら、こちらから「中学校が楽しみか」とか「どんな部活に入りたいか」といった進路のことや趣味の話などを聞いてみます。進路の話は、新しい所へ行くわくわく感やドキドキ感が伝わってきます。どんな先生がいるのか、部活動での先輩との関係はうまくいくのかなど、不安材料はあるようですが、多くは「楽しみ」と思っているようです。

当初、会食時間は20分で計画されていましたが、20分では、給食を食べながら少し会話をして終わってしまいます。最初のチームが給食を早く食べ終えたので、少しだけカードゲームをする時間がありました。ゲームをすると自然な表情になり、とてもすてきな時間を過ごすことができました。次のチームもと思っていたら、ゲームが長引いて、食器を戻す時間が遅くなり、迷惑をかけてしまいました。楽しい時間を計画してくれた子どもたちに「どうすればいい？」と担任の先生から問いかけてもらいました。

子どもたちの回答は、「各クラスから給食の片付けを取りに行く」というものでした。一番に「思い出づくりの時間確保」を考えてくれた結果でした。その後、回収時間になると食器を取りに来てくれるので、ゆっくりと楽しむ時間ができました。

また、お休みの子がいる場合には、全員そろっている班に順番を変えてくれ、全員と会食できるように気遣ってくれます。「校長先生との思い出をつくろう」という目的がしっかりとしているので、計画通りに進まないときも目的に立ち戻って考えることができているのだと感心しました。

会食会は毎月いっぱい続きます。まだまだ楽しい時間を過ごせることに幸せを感じます。

春がきた

地域の方から梅とスイセンをいただきました。来賓玄関に飾らせてもらいました。春の香りが職員室前まで漂ってきて、うきうきした気持ちになります。

その花を見て、「梅の花っていい匂いがするし、かわいいからすきなんだよね。」と教えてくれる子がいました。子どもとともに目と鼻で春を感じた瞬間でした。

春をありがとうございました。

